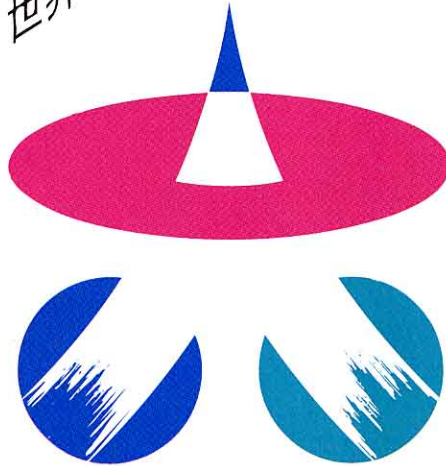


美しい<sup>ふるさと</sup>天地イメージ形成・シンボルマーク

世界中で唯一の一番美しい<sup>ふるさと</sup>天地



大信村

このシンボルマークは、平成9年4月25日に<sup>さだ</sup>められました。21<sup>せい</sup>世紀<sup>き</sup>に向けて、大信村のイメージをさらによくするために、村内をはじめ全国各地から集まったたくさんの作品から選ばれたものです。大信村の『大』をモチーフに、<sup>だ</sup>円は世界を、<sup>せい</sup>青い丸は大信村の清流<sup>せいらゆう</sup>と<sup>れきし</sup>歴史を、<sup>ゆた</sup>緑の丸は豊かな大地と文化を表します。それらをつなぐ『人』の文字で、「世界中で唯一の一番美しい<sup>ふるさと</sup>天地」<sup>ゆい</sup>づくりを目指す村民の調<sup>わ</sup>和<sup>かつりよく</sup>と活<sup>か</sup>力<sup>りよく</sup>、そして未来に向けて大信村が<sup>かぎ</sup>限りなく<sup>はってん</sup>発展していくことをイメージしています。